



2011年10月26日
株式会社日立製作所
執行役社長 中西 宏明
(コード番号:6501)
(上場取引所:東・大・名・福・札)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2011年7月29日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

●業績予想の修正について

2012年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(2011年4月1日～2011年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前 四半期純利益	非支配持分 控除前 四半期純利益	当社に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,400,000	100,000	75,000	30,000	10,000
今回発表予想(B)	4,550,000	170,000	130,000	75,000	50,000
増減額(B-A)	150,000	70,000	55,000	45,000	40,000
増減率(%)	3.4	70.0	73.3	150.0	400.0
(ご参考) 前期第2四半期(累計)連結期間実績	4,502,451	218,048	263,808	204,437	158,049

修正の理由

2012年3月期第2四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災からの早期復旧にグループ一丸となって取り組んだ結果、2011年7月29日に公表した業績予想(以下、前回予想)に対し、高機能材料、情報・通信システム、社会・産業システム、オートモティブシステム部門を中心に改善し、前回予想を上回る見込みです。

営業利益は、売上高の増加に加え、固定費を含むコスト削減の推進等により全部門で改善し、前回予想を上回る見込みです。営業外損益は急激な円高の影響等により悪化したものの、税引前四半期純利益、非支配持分控除前四半期純利益及び当社に帰属する四半期純利益は、いずれも前回予想を上回る見込みです。

2012年3月期通期の業績予想については、米国・欧州・中国をはじめとする世界経済の動向や、タイの洪水被害による影響、為替レートの推移、原材料価格の変動等が極めて不透明なため、前回予想を変更していません。

<将来の見通しに関するリスク情報>

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・主要市場（特に日本、アジア、米国およびヨーロッパ）における経済状況および需要の急激な変動
- ・為替相場変動（特に円／ドル、円／ユーロ相場）
- ・資金調達環境
- ・日本の株式相場変動
- ・持分法適用関連会社への投資に係る損失
- ・価格競争の激化（特にコンポーネント・デバイス部門およびデジタルメディア・民生機器部門）
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社および子会社の能力
- ・急速な技術革新
- ・長期契約におけるコストの変動および契約の解除
- ・原材料・部品の不足および価格の変動
- ・製品需給の変動
- ・製品需給、為替相場および原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社および子会社の能力
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・事業構造改善施策の実施
- ・主要市場・事業拠点（特に日本、アジア、米国およびヨーロッパ）における社会状況および貿易規制等各種規制
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・当社、子会社または持分法適用関連会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・地震、津波およびその他の自然災害等（特に日本）
- ・情報システムへの依存および機密情報の管理
- ・退職給付債務に係る見積り
- ・人材の確保

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
